



スマイル 天神

天神小学校
学校だよりNo.30
平成30年12月10日
発行者 蒲川法子



思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

人権集会 ～おたがいを大切に～

12月7日、人権集会を行いました。

人権平和部の子どもたちが進行を担当し、はじめの言葉、校長の話、講師紹介、講演、各学級の人権標語の発表、人権平和部の発表、歌、おわりの言葉という内容で行われました。

校長の話では、「ひとつのことば」という詩を紹介し、相手の気持ちが温くなる「ふわふわことば」（ありがとう、だいじょうぶ、よかったね、やさしいね、どうしたの、すてきだね等）を使っていくこと、相手を傷つけることばを使わないことについて話しました。一人一人が大切な存在です。相手の気持ちを考えて行動できる子どもになってほしいと思います。

講演では、堤龍平さんをお迎えして「障がい」についてお話をうかがいました。堤さんは、12歳の頃にかかった病気で手足が不自由になられ、電動車いすを使って生活しておられます。堤さんは自己紹介の後、障がいについて絵を用いて教えてくださいました。そして車いすについて実際に動かしながら説明をされ、車いすの方と接するとき気をつけること、車いすで外に出かけるとき困ること、バリアフリー等についてご自身の経験を元に話をしてくださいました。車いすの生活をする中で、ちょっとした段差が大きな壁になること、自分が好きなときに好きなところへ行くことが困難なことがよく分かりました。実際にお話を聞くことができ、有意義な時間でした。

各学級の人権標語の発表も全員で立派に発表することができ、人権平和部の発表では「いのち」の詩を暗唱してくれました。お互いを大切にする気持ちを今後も育てていきたいと思っています。



2年生学年発表

4日の朝の活動で、2年生の学年発表がありました。国語の時間に学習した「お手紙」という物語を役割分担して暗唱した成果を披露してくれました。教科書の挿絵をスクリーンに映しながら一人で、ペアで、グループでと様々な形態で堂々と発表していました。子どもたちの暗記力は、素晴らしいものです。



天神幼稚園との交流 ～1年生による「冬フェスタ」の取り組み～

4日、1年生の子どもたちが、天神幼稚園の園児の皆さんと交流活動をしました。1年生が考えた、出店（さかなつり、かるた、ボウリング、ダンス、くじびき、宝探し、くじ引き、ドングリごま）で園児の皆さんが楽しく活動することができたようです。11月のスマイル集会の経験が生かされていて、出店の準備も友達と工夫しながら進める姿が見られました。

給食も一緒に食べましたが、1年生も幼稚園生も行儀よく食べていて感心しました。幼稚園の先生からも1年生と一緒に食べるというよりも食べ終わるのが早いとうかがい、お互い良い影響を受けているのだと感じました。

今後も保幼小との連携を大切にしていきたいと思っています。

